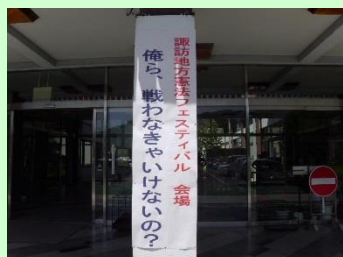
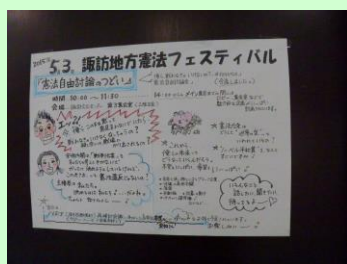


写真集 戦争法とたたかうチカラ沸々と

2015年5月3日 諏訪地方憲法集会事務局長 毛利正道



「2015年 諏訪地方憲法フェスティバル＝俺ら、戦わなきゃいけないの?」は、3日、諏訪市文化センター全館5会場を借り切って一日中多様な企画が行なわれ、群馬・山梨県や佐久・小諸などからも含め350名の参加者がにぎやかに交流しました。2003年に発足した諏訪地方憲法集会(武井秀夫会長・19団体120個人で構成)が主催し、戦争法案の上程が迫っている情勢を受け、「閣議決定白紙撤回! 諏訪湖八ヶ岳地域ぐるみの会」などこれまでにない多くの人々が主体的に参加しました。



上段 憲法自由討論のつどい



辺野古2014年7~9月上映

「イアンフー女性自衛官は大丈夫か」

国連NPT再検討会議に合わせて渡米した高校生の「会話や歌、パフォーマンスもあってすごく楽しかった」との発言もあって盛り上がった憲法自由討論のつどい(40名)。初めて開催の「平和を愛する人の作品展」には50名が100を超える作品を出展して注目されました。語り芝居・お国ことばでの憲法朗読などの文化企画もスズナリの人々に囲まれるほど。フクシマ原発事故写真展、沖縄辺野古の戦い映像の上映、イアンフ問題から「女性自衛官は大丈夫か」を問うカフェも真剣なまなざしが多く注がれ、10店舗を超える出店も大いなる交歓の場となりました。



上段 ロビー文化企画



中段 展示 脱原発関連



下段 展示 平和のための作品集

メイン集会では、映画「標的の村」監督三上智恵さんが「遠ざかる日本国憲法」と題する記念講演、引き続き質疑意見交流会も50名が参加して活発に2時間行なわれました。三上さんは、「あの沖縄戦を生き延びた85歳のおばあが、『私をひき殺してから行きなさい』と工事車両の前に身を投げ出した」戦いとこれを支える保革を超えた結集など辺野古巨大侵略基地建設阻止の戦いをリアルに報告。併せて、日本も沖縄も戦後70年に亘って米国に占領されていて植民地の実態にあること、特に「この間ずっと戦場であった沖縄は、米軍に全く逆らえなかった本土復帰までの27年間に亘っては日本国憲法にあこがれてあこがれて喉から手が出るほど欲しかったが、一度もその恩恵に浴することもなく、今、憲法が変えられようとしている」として、本土の人々とともに戦う決意を表明しました。



メイン集会 木遣り



武井秀夫会長あいさつ



三上智恵さん



客席



交流会



展示 日本軍の風船爆弾

「高校生が世界大会への参加を報告し、若い人が改憲問題を自分のこととして理解していることにビックリし感心もした」、「今の政府は戦争の準備をしている。戦争を2度としないと行ったのは日本人です」との感想がありました。

ロビーには、地域ぐるみの会600口の賛同者による長野日報・市民新聞紙上に3日掲載された、「世界が注目する『戦争しない』9条の魅力」と赤く大書きされた「戦後70年、次の70年も決して戦争しないための意見広告」が張り出され、関心を呼んでいました。

今日は憲法記念日 世界が注目する「戦争しない」9条の魅力

大転換させようとしています「自衛隊が武力行使できる」条件
歯止めある現行法 ▶ 切れ目なく「戦争できる法」

何よりの証拠 米国カーター国防長官
「米軍と自衛隊が切れ目なく協力する機会が増え、世界中での対応が可能になる」(今年4月8日東京での記者会見にて)

暴走安倍内閣 5つの問題

- ① 国民主権からみて…世論調査で国民多数が恨強く反対していても突き進む
- ② 立憲主義からみて…政府も42年間「憲法違反だからできない」と言って来た集団的自衛権戦争を、憲法改正抜きで出来るようになる
- ③ 平和主義からみて…自衛隊員始め多くの人の生死に関わるからだからこそ国民的議論を尽くすべきなのに結論先ありき
- ④ 武力行使した場合…相手からの日本に対する武力反撃、テロ攻撃などのリスクをまともに検討せず
- ⑤ 政権党が独断で…間違った戦争をしたとき、誰が責任を取れるのか

このままでよいのでしょうか
決めるのは安倍首相ではなく、私たち国民!
戦争法案を撤回し、国民的議論を尽くすことを求めます



日本国憲法 第9条
1 日本国民は、正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求し、国権の発動たる戦争と武力による威嚇又は武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する。
2 前項の目的を達するため、陸海空軍その他の戦力は、これを保持しない。国の交戦権は、これを認めない。

◆諏訪湖・八ヶ岳地域ぐるみの会 呼びかけ人(順不同・敬称略)77名
【諏訪湖・八ヶ岳地域ぐるみの会】は、1977年(昭和52年)に設立された、地域住民による市民団体です。地域住民の生活の質を向上させ、地域社会の発展に貢献することを目的として活動しています。また、地域の文化・歴史の継承と、環境保全にも取り組んでいます。このたびは、憲法記念日にあわせて、憲法第9条の重要性について、市民の声を集め、意見を述べたいと考えています。ご賛同をいただければ幸いです。

◆戦後70年、次の70年も決して戦争しないための意見広告
◆安倍首相へのご意見と、次の意見広告のための賛同会をお待ちしています

ご意見・お問い合わせ先
FAX0266-75-1513 メールmouri-m@joy.ocn.ne.jp
〒394-0005岡谷市山下町1-21-24-101 地域ぐるみの会
—海外での戦争に道を開く閣議決定白紙撤回! 諏訪湖・八ヶ岳地域ぐるみの会—